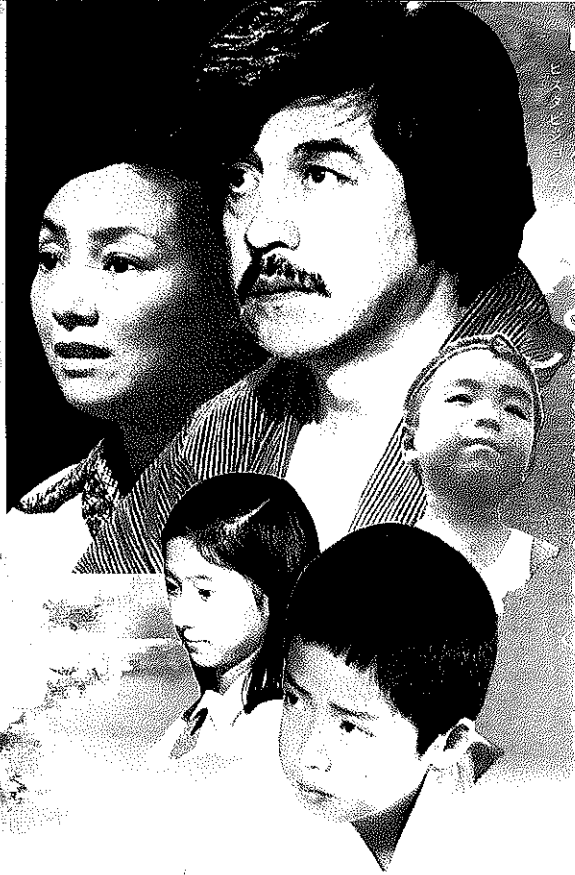


カラー
ビデオ



原作 中沢啓治(汐文社刊)
製作・脚本・監督 山田典吾
製作協力 山田火砂子
撮影監督 安 承攻
音楽監督 渋谷 毅
美術 育野重一
照明 山本嘉治
編集 沼崎梅子
助監督 石山昭信
製作担当 宮川孝至

はたし

戦争のばかたれ!
原爆のばかたれ!
ひとりぼっちのわんぱくケン
駆けよ 生きぬけ 何ンにもめげず!
思わず笑いがはじけ 熱い涙がこみあげ

戦争を知らない世代からの圧倒的な反響が
全国にひろがって話題を呼ぶ感動の映画化

大牧伸 陶隆司 草薙幸二郎 大泉滉 島田順司 坂本新平

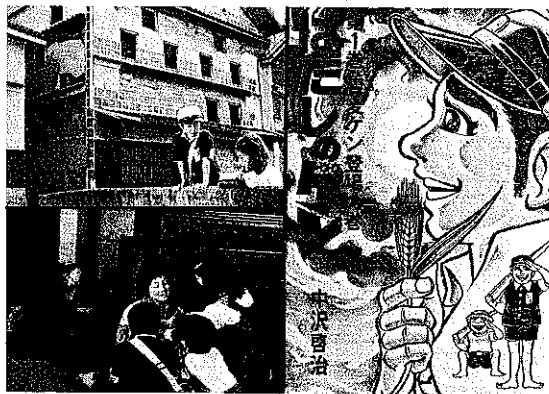
首我



はだしのゲン

かいせつ

原作 中沢啓治(文芸春秋)
 脚本 山田典吾
 監督 山田典吾
 製作協力 山田火砂子
 撮影監督 安承政
 音楽監督 渋谷 敏
 美術 青野重一
 照明 山本嘉治
 編集 沼崎梅子
 助監督 石山昭信
 製作担当 富川孝至



三國連太郎 菅我筈家一二三
 左 幸子 大泉 滉
 佐藤健太 坂本新平
 石松宏和 野々浩介
 箕島雪弥 公門義武
 岩原千寿子 中村公三郎
 小松陽太郎 大岡優子
 草薙幸二郎 堀井水子
 島田順司 松井康子
 陶 隆司 三堂 けい
 梅津 栄 岡田サチ子
 江島英明 糸美智子
 利根司郎 舟本信子
 吉田義夫 麻里千苗子
 直木 悠
 牧 伸二

「はだしのゲン」
 主題歌
 作詞 山田典吾
 作曲 渋谷 敏
 演奏 菅太朗
 監修 映画「はだしのゲン」製作と上映を成功させる会

誰にも親しめるひとりのわんぱく少年の姿を生き／＼と描きながら、戦争のむごたらしさと原爆の恐ろしさを、まざまざと刻みつけて大きな反響を呼びおこしている中沢啓治原作の劇画「はだしのゲン」注目の映画化作品。

太平洋戦争も終りに近づく昭和二十年四月頃から、八月六日の原爆投下、そしてさらに敗戦に至る広島市を背景に、この映画は、少年「ゲン」がさまざまな困難や苦しみにめげず、持ち前のバイタリテイで生き抜いてゆくさまを、ときには笑い、ときには熱い涙をまじえて感動的に描いている。

出演者は、三國連太郎、左幸子をはじめ映画演劇界からベテラン多数が、主役のゲンには佐藤健太、弟の進次には石松宏和が東京オーディションで、またそのほかの子役には、広島島の応募者の中からキャスティング。

製作・脚本・監督に山田典吾が意欲的に取り組み、撮影は「太陽の詩」で秀作を生んだ山田監督とコンビを組んだ安承政が担当。

ものがたり

今がわんぱく盛りの中岡ゲンは、国民学校二年生の男の子。いつも弟の進次をしたがえて、憎めない悪童ぶりを思う存分に発揮していた。

昭和二十年四月、太平洋戦争も終りの頃の広島市、ゲンの町もきびしい戦時下にあつて昼間からB29の空襲にさらされた。

そんなある日、ゲンの父親大吉が、日頃から反戦的な言動をしているということで、警察に連れ去られてしまった。長男の浩二をはじめ、昭、英子、ゲン、進次とつづく五人の子供、そして六人目の子をお腹に宿した母の君江は、町内の人々から非国民とののしられながらも、苦しい暮しにじっと耐えるほかはなかった。

ゲンは、学校で先生や生徒にもことあるごとに意地悪され、痛めつけられ、英子などは泥棒あつかいされる始末。ようやく警察から帰ってきた大吉が、学校に出かけて仇をとってくれ、その口惜しさをぬぐってくれたが、こうした妹や弟たちの屈辱を見るにみかねた浩二は、両親の止めるのもきかず、自から予科練に志願、海軍航空隊に身を投じていった。

そして八月六日、午前八時。ゲンはいつものように、快晴の空の下を学校に急いだが、その時突然、B29が上空に現われて次の瞬間、強烈な白い閃光がはしりつづいて巨大なキノコ状の雲がいつきにひろがった。ちょうど塀のカゲにいたゲンは、運よく助かったが、町は猛火と黒煙の中で、波うつように崩れ去り、その姿を一変させていた。焼けただれた町の中を夢中で家に駆けもどったゲンがみたもの、それは倒れた家の下敷きになった父の大吉、英子、進次の姿だった。

このときのあまりにも大きなショックで、母の君江は突然、陣痛におそわれた。やがて一週間、ゲンの身体にも被爆症状があらわれ、この何にもめげない元気な少年を、大きな不安の中に叩きこんだ。

そして敗戦。八月十五日、廃虚となった町をケンと母の君江はりやカーをひいて歩む

中沢啓治さん追悼上映会

2013年3月31日(日) オリエント美術館 地下講堂

上映時間①10:30 ②13:30

鑑賞料金 前売1,000円(当日1,300円)

お問い合わせ/映画「はだしのゲン」上映委員会 TEL 086-223-0904(中国共同映画内)